

歯科技工の海外委託問題活動

# 国会議員便覧

平成22年5月1日現在

議員 8名

編集・歯科医療を守る国民運動推進本部

# 議員一覽

(民主5 自民1 公明1 共産1) (敬称略 政党別当選回数順)

民主党	仙谷 由人 (64歳)	衆議院議員	当選6回	徳島県
	金田 誠一 (63歳)	(引退)	当選5回	北海道
	櫻井 充 (54歳)	参議院議員	当選2回	宮城県
	大久保 勉 (49歳)	参議院議員	当選1回	福岡県
	水野 智彦 (54歳)	衆議院議員	当選1回	千葉県
自民党	木村 太郎 (45歳)	衆議院議員	当選5回	青森県
公明党	古屋 範子 (54歳)	衆議院議員	当選3回	神奈川県
共産党	吉井 英勝 (68歳)	衆議院議員	当選8回	大阪府

衆議院 <http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index.htm>

参議院 <http://www.sangiin.go.jp/index.htm>

## 衆参議院・議事録閲覧 (国立国会図書館ホームページ)

国会会議録閲覧システム <http://kokkai.ndl.go.jp/>

【検索例】

トップ→簡単検索→入力→平成20年2月4日・参議院・予算委員会・櫻井充→検索→検索結果一覧表示→予算委員会→櫻井充055から060→ダウンロード→発言表示

## 衆議院・議事録閲覧

衆議院トップ<http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index.htm>

【検索例】

会議録→厚生労働委員会→平成22年3月31日第13号→22ページ水野智彦議員  
会議録→消費者問題に関する特別委員会→平成22年4月7日第4号→29ページ古屋範子議員  
会議録→消費者問題に関する特別委員会→平成22年4月7日第4号→33ページ吉井英勝議員

## 衆参議院・質問主意書答弁書閲覧

衆議院トップページ

【検索例】→質問主意書答弁書→第173常会→質問番号129番→質問・答弁

参議院トップページ

【検索例】→質問主意書→国会回次指定→第165国会→選択→質問番号5番→質問・答弁

## 国会質問 3 回

### 第169回通常国会

平成20年 2月 4日 参議員 予算委員会  
民主党 櫻井 充

### 第174回通常国会

平成22年 3月31日 衆議院 厚生労働委員会  
民主党 水野智彦

平成22年 4月 7日 衆議院 消費者問題に関する特別委員会  
公明党 古屋範子  
共産党 吉井英勝

## 質問主意書 12 回

平成14年 2月19日 第154国会 参議院 質問11号 民主党 櫻井充  
歯科技工士の技工料の決定方法に関する

平成18年 6月14日 第164国会 参議院 質問第80号 櫻井 充  
歯科医療に係る診療報酬点数等

平成18年10月 6日 第165国会 参議院 質問第5号 大久保 勉  
国外で作製された歯科技工物

平成18年10月11日 第165国会 参議院 質問第7号 大久保 勉  
歯科医療に関わる診療報酬点数等

平成18年11月 9日 第165国会 参議院 質問第19号 大久保 勉  
国外で作製された歯科技工物

平成19年 5月21日 第166国会 参議院 質問第38号 大久保 勉  
技工士の労働条件

平成19年 5月21日 第166国会 参議院 質問第39号 大久保 勉  
技工士学校

平成19年 5月21日 第166国会 参議院 質問第40号 大久保 勉  
歯科技工物の分類

平成19年 5月21日 第166国会 参議院 質問第41号 大久保 勉  
日本国内における未承認の歯科材料

平成19年 6月14日 第166国会 衆議院 質問第382号 仙谷由人  
国外で作製された歯科医療の用に供する補綴物等

平成21年11月30日 第173国会 衆議院 質問第129号 木村太郎  
国外で作製された歯科医療用補てつ物等

平成22年 2月25日 第174国会 衆議院 質問第174号 木村太郎  
国外で作製された歯科医療用補てつ物、,再質問

## 意見書 1 回

平成20年 9月22日 民主党 前衆議院 金田誠一  
歯科技工の海外委託問題早期解決を

## 仙谷 由人 (せんごくよしと)



政党 民主党 衆議院 徳島県第1区  
初当選 1990年 (平成2年)  
当選回数 6回  
現職 内閣府特命担当大臣(「新しい公共」)、公務員制度改革担当 国家戦略担当  
学歴 徳島県立城南高等学校卒業 東京大学法学部卒業  
略歴 1946年(昭和21年)生 1968年10月東京大学在学中に司法試験に合格 1971年4月弁護士活動を開始 1990年 2月 衆議院選初当選(日本社会党) 1990年 11月 民主党政策調査会長 就任 1997年 9月 民主党幹事長代理 就任 1998年 4月 民主党企画委員長 就任 2005年 4月 年金改革両院合同会議 会長代理に就任 9月 民主党N.C厚生労働大臣に就任 9月 民主党シンクタンク設立準備委員会委員長に就任 12月 「公共政策プラットフォーム」代表理事に就任(～06年11月) 2006年 3月 民主党幹事長代理に就任 2009年 1月衆議院予算委員会委員 9月内閣府特命担当大臣(行政刷新) 国家戦略担当

### 【質問主意書】

平成19年 6月14日

第166国会 衆議院 質問第382号

国外で作製された歯科医療の用に供する補綴物等



## 金田 誠一 (かねた せいいち)

政党 引退 (前 民主党衆議院議員 北海道第8区)

初当選 1993(平成5年)

当選回数 5回

現職 引退

学歴 北海道函館東高等学校卒業

略歴 1947年(昭和22年)生 北海道上磯郡木古内町 高卒で函館市役所職員となり22歳で日本社会党に入党。函館市議会議員を経て、1993年7月18日の第40回衆議院議員総選挙に旧北海道3区から無所属(社会党推薦)で出馬し、初当選を果たした。所属政党 民主党(国のかたち研究会) 新党さきがけ 平和・市民 日本社会党 2009年7月21日、衆議院解散に伴い政界を引退 (平成5～平成21)

### 【意見書】

平成20年9月22日 厚生労働大臣にの提出

意見書の趣旨・国民に対して安全な歯科治療を保証するために、歯科技工法の趣旨に則り歯科技工の海外委託を原則として禁止するとともに、例外的に許容される場合については、国民への安全な歯科治療を保証し、日本国内の歯科技工士制度を充実・発展させる観点から法整備を行うよう要請する。



## 櫻井 充

(さくらいみつる)

政党 民主党 参議院 宮城県選挙区  
 初当選 1998年 (平成10年)  
 当選回数 2回  
 現職 参議院 予算委員会委員 経済産業委員会委員 民主党 政策審議会会長 医学博士  
 学歴 仙台一高卒業(27回) 東京医科歯科大学医学部卒業  
 東北大学大学院医学研究科博士課程修了  
 略歴 1956年(昭和31年)生 国立療養所岩手病院第二内科医長 現在も現役の医師として活躍中(心療内科) 聖和学園短期大学 客員教授 1適切な医療費を考える民主党議員連盟会長 歯科医療議員連盟会長 統合医療を普及・推進する議員の会会長代行 インクルーシブ教育を推進する議員連盟副会長 フランチャイズを考える議員連盟副会長 バイオマス活用推進議員連盟事務局長 など 幹細胞(iPS,ES細胞などを含む)研究支援議員連盟会長 アルコール問題議員連盟事務局長 慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟副幹事長 など

### 【国会質問】

平成20年2月4日第169回 通常国会参議員 予算委員会

### 【質問主意書】

平成14年2月19日 第154国会 参議院 質問11号  
 歯科技工士の技工料の決定方法に関する  
 平成18年6月14日 第164国会 参議院 質問第80号  
 歯科医療に係る診療報酬点数等

## 大久保 勉

(おおくぼつとむ)



政党 民主党 参議院議員 福岡県選挙区  
 初当選 2004年 (平成16年)  
 当選回数 1回  
 現職 参議院財政金融委員会理事、決算委員会委員 政府開発援助等に関する特別委員会委員 福岡大学非常勤講師、  
 学歴 福岡県立明善高等学校卒業 京都大学経済学部卒業  
 略歴 1961年(昭和36年)生 1984年4月 東京銀行(現・三菱東京UFJ銀行) 入行 為替資金部、ニューヨーク支店勤務  
 1994年1月 同行退行(最終職歴:ニューヨーク支店長代理) 1994年2月 モルガン・スタンレー証券会社入社 2002年12月 同社 投資銀行本部マネージング・ディレクター 2004年1月同社退社  
 2004年 7月11日 20回参議院議員選挙当選 主要著書「スワップ革命」共著、「グローバルスタンダード」共著、「エクセレント・バンク」論文多数

### 【質問主意書】

平成18年10月6日 第165国会質問第5号 国外で作製された歯科技工物  
 平成18年10月11日 第165国会質問第7号 歯科医療に関わる診療報酬点数等  
 平成18年11月9日 第165国会質問第19号 国外で作製された歯科技工物  
 平成19年5月21日 第166国会質問第38号 技工士の労働条件  
 平成19年5月21日 第166国会質問第39号 技工士学校  
 平成19年5月21日 第166国会質問第40号 歯科技工物の分類  
 平成19年5月21日 第166国会質問第41号 日本国内における未承認の歯科材料



## 水野 智彦 (みずのともひこ)

政党 民主党 衆議院 南関東ブロック  
初当選 2009年 (平成21年)  
当選回数 1回  
現職 衆議院厚生労働委員会・消費者問題特別委員会 歯科医師  
歯学博士  
学歴 東邦大学付属東邦高校卒 城西歯科大学卒業 (現:明海大学  
歯学部)  
略歴 1956年 (昭和31年)生 千葉県勝浦市にて水野歯科  
医院を開設 NPO理事長 勝浦青年会議所理事長

### 【国会質問】

平成22年3月31日  
第174回通常国会 衆議院 厚生労働委員会  
歯科技工の海外委託問題について



## 木村 太郎 (きむらたろう)

政党 自民党 衆議院議員 青森県第四区  
初当選 1996年 (平成8年)  
当選回数 5回  
現職 党副幹事長 衆議院決算行政監視委員会 筆頭理事  
学歴 弘前南高等学校卒業 東洋大学法学部法律学科卒  
略歴 1965年 (昭和40年)生 平成3年4月 青森県議会議員  
初当選 (連続2期) 平成8年10月 衆議院議員 初当選 (連続5期)  
平成8年12月 国土交通省国土審議会特別委員 (平成13年3月・平  
成16年11月・平成17年10月) 平成13年2月 衆議院農林水産委員会理  
事 (平成13年8月・平成20年11月) 平成14年1月 防衛庁長官政務官  
平成14年10月 安全保障委員会理事 平成15年9月 農林水産大臣政  
務官 平成16年10月 自民党内閣部会専任部会長 (防災・警察) 平成  
17年11月 防衛庁副長官 平成18年9月 衆議院安全保障常任委員長  
平成19年10月 衆議院決算行政監視委員会理事 平成20年8月 自民党  
副幹事長

### 【質問主意書】

平成21年11月30日 第173国会 衆議院 質問第129号  
国外で作製された歯科医療用補てつ物等

平成22年 2月25日 第174国会 衆議院 質問第174号  
国外で作製された歯科医療用補てつ物、再質問



## 古屋 範子

(ふるやのりこ)

政党 公明党 衆議院 比例区南関東ブロック

初当選 2003年 (平成15年)

当選回数 3回

現職 衆議院厚生労働委員会理事 消費者問題特別委員会理事  
幹事長代理 女性局長 中央幹事 神奈川県本部副代表 政務調査会副会長

学歴 早稲田大学第一文学部卒。

略歴 1956年(昭和31年)生 聖教新聞社出版局に勤務。  
2003年11月 第43回衆議院議員総選挙比例南関東ブロック公明党第3位で初当選。2005年9月 第44回衆議院議員総選挙比例南関東ブロック公明党第2位で再選。総務大臣政務官に就任。2006年9月 総務大臣政務官を退任。同党の谷口和史に譲る。2007年9月 公明党女性局長に就任。

### 【国会質問】

平成22年4月7日

第174回通常国会 衆議院 消費者問題に関する特別委員会  
歯科技工の海外委託問題について



## 吉井 英勝

(よしいひでかつ)

政党 共産党 衆議院 近畿比例ブロック

初年度当選 1990年 (平成2年)

当選回数 8回(衆議院7回/参議院1回)

現職 国会 経済産業委員会、消費者問題特別委員会 党内 党中央委員、党経済産業部会長 国会議員団原発エネルギー問題委員長(2001年1月～)、原油高騰問題対策委員会委員長(2007年11月～)、党消費者問題対策委員会責任者(09年～) その他 -

学歴 京都大学工学部原子核工学科卒。

略歴 1942年(昭和17年)生 堺市議(28歳～)3期、大阪府議1期、参院議員1期を経て、90年大阪旧4区から衆議院初当選。96年九州・沖縄比例ブロック、2000年近畿比例ブロックから当選し、現在、衆院議員7期目。経済産業委員、消費者問題特別委員会委員(参院大蔵、衆院財務金融、地行、商工、内閣、科学技術、政治倫理公選特別委員等歴任)。党中央委員、党内閣部会長、党経済産業部会長、党原発・エネルギー問題委員長、党原油高騰問題対策委員会委員長

### 【国会質問】

平成22年4月7日

第174回通常国会 衆議院 消費者問題に関する特別委員会  
歯科技工の海外委託問題について

# 17条を守れ

## 歯科技工士法 第17条

歯科医師又は歯科技工士でなければ業として歯科技工を行ってはならない。



### 国の責務

国民の健康と安心・安全を守る義務がある

### 憲法 第25条

- 1 すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- 2 国は、すべての生活部面において、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

厚生労働省  
「17年通達」  
「22年通達」

# 撤廃 輸入禁止

歯科医療を守る国民運動推進本部